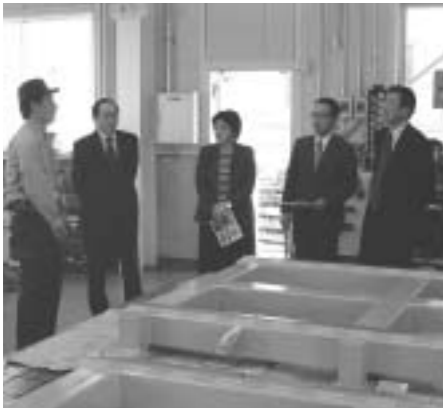


活発に調査活動・暮らし、地域を元気に!

経済活性化へ向け、市内企業を視察



元気なまちづくりには、地域の活性化が前提です。頑張っている市内企業を訪問し、企業誘致に依存することなく、独自の技術や長年の信頼を生かし、高い業績と雇用の拡大を図っている姿に、本市の明るい未来を感じました。

高台・交通不便地にミニバスの運行を!



「地域の足」として「コミュニティバスの運行が、多くの市民から要望されています。そこで、神戸市東灘区、大阪府守口市ですでに導入されているコミュニティバスの運行状況について視察しました。

市民病院の助産師外来を視察!



全国で問題となっている産科医の不足は横須賀市内でも深刻で、2004年時点で24人いた常勤医師は現在15人に減少。今後、助産師の活用が期待されますが、2007年10月、市民病院にわが団の主張により助産師外来を設置。担当の助産師から運営状況を聞きました。

植樹による急傾斜地の安全対策を視察



都市開発により山の緑も消えコンクリート手法による急傾斜地の安全対策が増えつつあるのが現状です。緑豊かな環境を保全するうえからも、急傾斜地にできる限り緑の再生ができないものか調査をしています。

ごみの広域化推進に向け現状把握!



市内長坂にあるプラスチック類減容固化施設を視察しました。ここでは収集された可燃ごみを強力な油圧プレスで圧縮減容し、スチールバンドで梱包、固形化処理し、県外に埋め立てのため搬出しています。

地産地消で地域再生!



地元産の新鮮でおいしい農水産物を、できる限り地元で消費し地域の活性化につなげようと、「まぐくみかん」を掲げる三浦市を視察しました。地元産品の販路拡大のためのシティーセールスや地産地消に配慮した学校給食の取り組みが大変に参考になりました。



市の担当者(左)から施設の説明を受ける市議会公明党のメンバー



複合施設「はぐくみかん」玄関

4月から、子育て支援や青少年育成を二元的に進めるための複合施設「はぐくみかん」がオープンしました。

子どもも育成で施設を一元化

「はぐくみかん」開設!



市内に点在していた各施設を一元化。発達障害児の支援を目的とした療育相談センターのほか、2006年4月に開設した児童相談所、市役所などに設けられていた「子ども育成部」のすべての機能が配置されました。

市議会公明党(板橋衛团长)は「子ども育成部の新設をはじめ、同施設の開設を積極的に推進しました。」